

通し番号	4819
------	------

分類番号	28-24-12-02
------	-------------

ニンジンの冬まき春どりトンネル栽培では‘彩誉’及び‘紅うらら’が優れます	
[要約] ニンジンの冬まき春どりトンネル栽培では、根部肥大、障害発生率から‘彩誉’が最も有望であり、次いで‘紅うらら’が有望である。	
神奈川県農業技術センター・生産技術部	連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

本県のニンジンの冬まき春どりトンネル栽培では、収量性や形状、揃いの良さが求められている。そこで、本作型に適したニンジンの優良品種を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1 根重は5月12日の調査では、‘彩誉’が最も重く、生育が早い。5月25日は‘彩誉’及び‘紅うらら’が重く、6月15日は‘彩誉’、‘向陽二号’及び‘紅うらら’が重い(表1)。
- 2 最大根径は5月12日、25日及び6月15日のいずれの調査でも‘彩誉’が供試品種の中で最も太い(表1)。
- 3 欠株率は‘彩誉’及び‘紅うらら’が2.6%及び2.7%と低い(表2)。
- 4 障害発生率は‘彩誉’が5.8%と供試品種の中で最も低い。‘紅うらら’は青首が5%ほど発生するが、それ以外の障害は他品種と比べて同等以下で、特に裂根が少ない(表2)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 供試品種は9品種。平成28年1月5日に播種し、べたがけ、トンネルを設置した。
- 2 ‘紅うらら’は吸い込み性が弱く青首が発生するため、適宜培土を行う必要がある。

[具体的データ]

表 1 収穫調査結果^z

品種	根重(g)						根長(cm)						最大根径(mm)					
	5/12	c.v.	5/25	c.v.	6/15	c.v.	5/12	c.v.	5/25	c.v.	6/15	c.v.	5/12	c.v.	5/25	c.v.	6/15	c.v.
彩誉	112.6	18.4	140.6	18.4	227.1	26.1	16.2	7.1	16.6	6.5	18.1	10.4	41	8.1	45	7.5	53	10.9
紅うらら	96.9	22.7	141.4	24.5	215.3	21.1	17.7	10.3	17.8	7.7	19.6	8.7	37	11.1	43	10.2	51	7.0
愛紅	76.7	28.0	115.1	35.8	166.2	28.2	17.3	10.5	17.0	15.6	18.8	10.8	35	13.4	40	14.7	46	10.5
向陽二号	84.3	26.7	116.5	27.6	219.9	29.0	15.5	13.1	16.5	9.0	18.4	11.9	38	9.4	44	11.1	53	12.5
ちはま五寸	66.8	29.3	109.7	34.8	184.2	24.0	14.3	11.1	14.8	17.2	17.3	13.4	34	11.1	41	16.1	49	10.4

z: 本表に示した品種の他に、‘敬紅’、‘TCH-711’、‘れいめい五寸’、‘ベーターリッチ’を供試した(以下の表も同様)。収穫物は平成28年5月25日(n=30)に調査した。

表 2 欠株率及び障害発生率^z

品種	欠株率	障害発生率(%)						
	(%)	裂根	岐根	ひび	くびれ	曲がり	青首	合計 ^y
彩誉	2.6	2.5	0.8	0.0	1.7	0.8	0.0	5.8
紅うらら	2.7	1.7	1.7	0.0	0.8	2.5	5.0	11.7
愛紅	24.0	13.3	2.5	1.7	2.5	0.8	3.3	24.2
向陽二号	5.2	11.7	2.5	0.0	0.8	0.0	1.7	16.7
ちはま五寸	3.6	14.2	2.5	0.0	0.8	0.8	0.8	19.2

z: 欠株率は平成28年3月18日(各品種2.4m²×3反復)、障害発生率は平成28年6月10日に調査した(n=120)。y: 合計は障害発生株数から算出し、同一株から障害が2種類以上重複して発生した場合も発生株数は1とした。

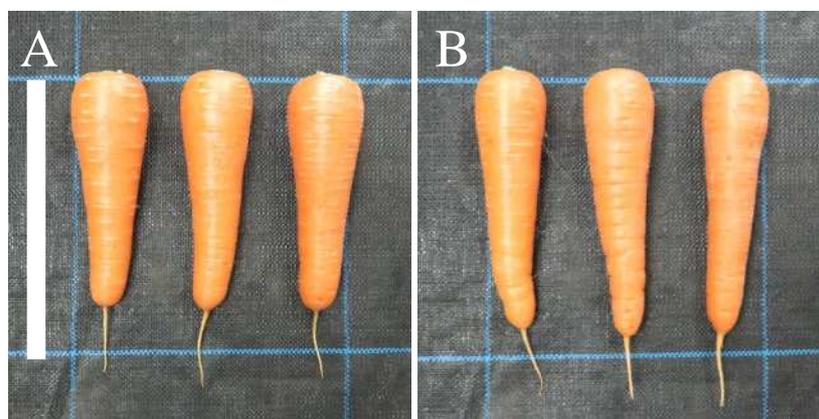


図1 有望品種の形状(平成28年6月11日撮影)

A: ‘彩誉’、B: ‘紅うらら’ 白線は20cm

- [資料名] 平成28年度試験研究成績書(野菜)
- [研究課題名] 冬まき春どりニンジンの品種特性検定試験
- [研究期間] 平成28年度
- [研究者担当名] 小泉明嗣・ゴンルドブ ジュリエン
- [協力・分担関係]